

工事施工時の安全対策

株式会社 町 組

土木部 鍋島 五和次

工事名	第二東名 長泉東工事
工期	工事着手工期 平成19年 4月2日～平成22年11月11日
工事内容	主たる工事内容 道路掘削 190, 000m ³ 盛土 1, 530, 000m ³ 捨土掘削 192, 000m ³ 補強土壁工 5, 000m ²

当工事はネクスコ発注の第二東名の工事である。当社は主に沼津工区（沼津サービスエリア）の土工事を下請けの立場で請負い、現在でも工事を進めている。

ある程度大型の重機土工の為、元請、職長会での安全ルールもあるが 当社でも独自の安全ルールを決め、オペレーター、作業員に周知し今でも継続をしている。

いくつかの細かいルールも決めたが、ここでは2点ほどの自社でのルールを紹介する。

まず第一番目に決めたのは、トラチョッキの着用である。現場ルールでもトラチョッキの着用は決まっていたが、当社請負工事は大型の重機土工の為、作業員 オペレーター共目立つものがないと判断、オレンジの頭からかぶるチョッキにした。

初めは少し派手かなと思ったが、かなりの業者が混在している中遠くから見ても当社の作業員、オペレーターとすぐにわかり、元請からの評判は良い。

オペレーターから見ても作業員が目立つ為、視認しやすく良いという意見が多く、接触防止対策には、相当役立っていると感じている。

トラチョッキ着用状況



トラッキ使用 作業状況

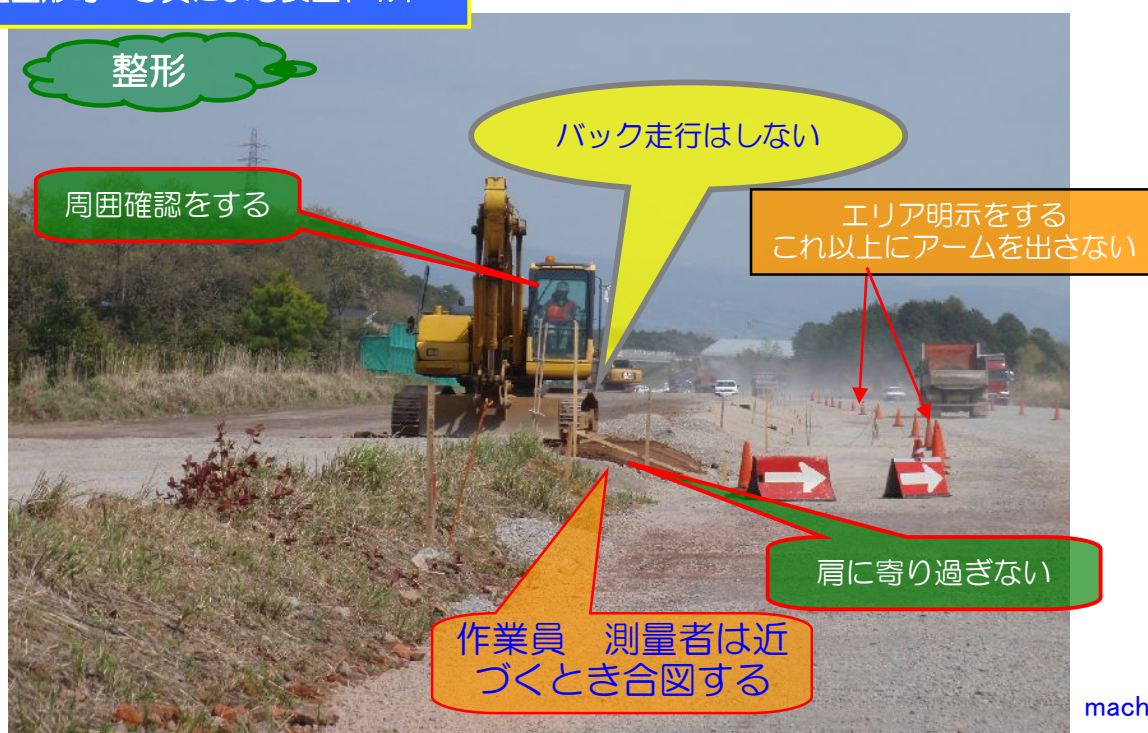


あと1つは作業手順書である。もともと作業手順書は、元請からの細かい要望もあり、当初から、かなり細かいこと、図面等記載してあり問題は無いと感じていた。しかし実際現場が進むにつれて、記載していないこと 又その作業の安全面でのポイントが明確になった。そこで作業の途中ではあったが、作業手順書に安全対策を追加 又写真を取り、写真に安全ポイントを明示、時間をとり再周知を行なった。

大変ではあるが作業員、オペレーターの安全に対する意識が向上、我々の安全に対する気持ちがわかってもらえたと感じている。

ここでは、写真による安全ポイントを紹介する。

路盤整形時 写真による安全ポイント



machi-gumi

掘削時 写真による安全ポイント



路盤すきとり時 写真による安全ポイント



まだ複数あるが、上記3枚の写真のように安全ポイントを明示 周知を徹底した。
元請からもわかりやすいと評判がよく、好印象である。

最後に

やはり誰もが当然わかっていることだが、安全は一人でどんなに力んで頑張っても達成出来ないものである。自分の安全は自分で守る、仲間の安全も私が守る という一人一人の思いが大事であるのではないかと感じる。後悔するより声掛けを 当現場では声掛けを実行し続けて行きたいと思う。